

令和6年度

保育園の自己点検・自己評価

日新保育園

記入方法

- * 個人評価ではなく、園としての評価です。
- * 4段階評価です。該当する欄に○印を付けて下さい。

園の目標 「清らかなこの目、このひとみをみんなで守り育てよう」

- 1、健康な子ども
- 2、友だちづくりのできる子ども
- 3、思いやりのある子ども
- 4、いろいろなことに興味と関心をもつ子ども

- | |
|-------------|
| 4. たいへんよい |
| 3. まあまあよい |
| 2. 一部検討を要する |
| 1. 改善を要する |

今年度の重点 「のびのびと遊び、やってみようをあらわす子ども」

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容		評価				改善に向けて
			4	3	2	1	
全体的な計画に	(1)	保育目標の具現化に向け、子どもの実態を踏まえた重点目標を設定している。	○				・重点目標は、職員全員で検討し決めたことで理解が深まり、意識して取り組むことが出来た。保育に繋がっている ・年度の途中で、再確認の機会を設ける。 ・地域の人とのつながりや伝統行事に触れ、次世代につなげるためにもっと特色を生かしていく。
	(2)	目標は、施設や地域の特色を生かしている。		○			
	(3)	全体的な計画は、前年度の反省を生かしている。	○				
	(4)	全体的な計画は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っている。	○				
保育について	(1)	指導計画は、子どもの実態に即して作成している。		○			・園内研修を通して子どもの姿に合わせた環境作りができるようになってきた。遊びのつながりや持続性のあるものになるような環境を整える。今後も改善しながら続けていきたい。 ・素材、用具について、把握や理解が不十分な職員もいるため、実際体験しながら理解度を高め、保育に活かせるようにしていきたい。
	(2)	保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている。		○			
	(3)	発達過程を踏まえた1日の流れ(ディリープログラム等)になっている。		○			
	(4)	主体的に遊び込める環境構成の工夫や過程を意識した保育をしている。		○			
	(5)	素材・用具を適切に活用している。		○			
	(6)	評価結果を基に保育の改善に努めている。		○			
行事について	(1)	行事の種類や実施回数は適切である。		○			・あそびが自然に行事に繋がるような保育をしている。 ・行事は保護者の要望を取り入れつつ、よりよい行事となるよう全職員で考えていく。
	(2)	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。		○			
	(3)	子どもの活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。		○			
	(4)	保護者の要望や意見、地域性を取り入れている。		○			
	(5)	計画・実施・評価・改善の体制をとっている。	○				
職務	(1)	職務内容が明確で、協働できる体制になっている。		○			・年齢や経験年数に関係なく、一人ひとりが自分の業務に責任をもって行ったり、担当以外の事柄にも関心を持ち、協力していく。 ・職員同士が話しやすい雰囲気作りも継続していく。
	(2)	職務の分担、割り当てが適切に行われている。		○			
	(3)	各種会議を適切かつ効率的に進めている。	○				
	(4)	職員相互がそれぞれ全体的な立場を理解し、協力や助言を惜しむ事なく園の運営に関わっている。		○			
連携	(1)	子どもの状況について関係する全職員が周知している。		○			・職員同士の理解を深めていけるような環境作りをし、保育にもつながるようにする。 ・地域の老人との触れ合いは、受け身になりがちなため、子どもたちと話し合う機会を設けながら、活動内容を工夫していく。
	(2)	職員同士が打ち合わせや研修を行い、お互いの保育に対しての理解を深め、援助についての共通理解が図られている。		○			
	(3)	地域等との年間交流計画は保育過程に沿ったものになっている。		○			
	(4)	地域の人達と楽しく触れ合う事ができるような配慮や援助をしている。		○			
組 織	クラス経営	(1)	年齢別・クラス別目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している。	○			・子どもの実態に合わせて保育しているが、月案や週案に実際行っていることをもっと書き込むことで取り組みが明確になり、次へつながるようにする。 ・異年齢交流の機会が増えているが、今後はその活動の充実を図る為、ねらいも考えていけると良い。
		(2)	年齢別・クラス別目標は、子どもの実態に即して設定している。		○		
		(3)	同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っている。		○		
		(4)	評価、資料(諸記録)を集積している。	○			
	特別支援教育	(1)	全職員で情報を共有し、チームで対応している。		○		・専門機関との連携は引き続き行っていく、助言を活かし、チームで取り組んでいく。 ・保護者に寄り添いながら、子どもにとって良い方向へ進めるよう連携を図っていく。
		(2)	個別の指導計画を作成している。	○			
		(3)	家庭や専門機関との連携を図っている。	○			
	健康・安全・防災教育	(1)	健康な生活を送れる為の保健対策をこうじている。	○			・家庭への啓発では、伝え方などの難しさを感じているが、職員一人一人が内容をしっかりと理解した上で、正しく丁寧な伝え方ができるようにする。
		(2)	避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施している。	○			
		(3)	健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っている。	○			
		(4)	子どもの安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っている。	○			
		(5)	災害や不審者などに対応する周到な配慮を行っている。		○		

項目	内 容		評価				改善に向けて
			4	3	2	1	
食育	(1)	全体的な計画に基づいた「食育計画」を作成している。	○				・野菜の収穫や身近な食材を利用して、食育活動を行う事が出来て良かったので、継続していく。
	(2)	年齢に応じて食事を楽しむ事ができる工夫や配慮がなされている。		○			
	(3)	多様な食の体験活動が行われている。		○			・離乳食に関しては、給食担当者も実際に喫食状況を見る機会を持つ。保育士と連携を図り、食材の形状など改善していく。
	(4)	アレルギー対応については、保護者や職員・関係機関と連携をとり適切に行っている。	○				
研究・研修	園内研修	(1)	研究テーマは、保育目標の具現化につながるものである。	○			・今までの研修の成果を評価し保育の主体性を更に考え、子どもの遊びや生活を豊かにしていく。
		(2)	園内研修の計画・運営は適切である。		○		
		(3)	研究の成果を日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させている。	○			・研究テーマは、継続しつつ具体的に保育に役立てていく。
	園外研修	(1)	各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っている。	○			
		(2)	各種研究会、研修会、講習会での内容を職員に伝え、共通理解を図っている。	○			
情報		(1)	子どもや保護者に関する個人情報を適切に取り扱っている。	○			・守秘義務については、職員間で確認し合う機会を作り守っていく。
		(2)	知り得た情報等の守秘義務を果たしている。	○			
施設・設備		(1)	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている。	○			・点検内容を把握し、職員一人一人が意識を持ち、しっかり確認していく。
		(2)	遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管している。	○			
		(3)	不審者等に対応する備え(装置や設備など)がある。		○		・掲示物への関心を高め、適切に交換、補修ができるようにする。
		(4)	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	○			
経出 理納		(1)	各種会計を適正かつ適切に管理・処理している。(集金等を含む)		○		
開かれた園づくり	幼保・学校間交流・連携	(1)	小学校との連携体制をとっている。	○			・小学校との連携は受け身になりがちなので、園側からもできる事を考え働きかけていきたい。
		(2)	ねらいに沿った子ども同士の交流ができています。		○		
		(3)	他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、子どもが楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っている。		○		
		(4)	指導者同士が、お互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解をはかっている。		○		
		(5)	つながりを意識した指導計画が作成、実施されている。		○		
	家庭・地域との連携	(1)	希望者に対し、見学や参観を行っている。	○			・園開放や保護者の参加行事には、地域の人材活用ができると良い。機会があれば積極的に活用していく。
		(2)	保護者を含む地域の人材活用をしている。		○		
		(3)	子どもの興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流している。		○		・感染症の状況を見ながら、地域と連携し交流していく。
		(4)	地域の行事を積極的に取り入れ、地域文化や生活に触れている。	○			
	子育て支援	(1)	地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶ事が出来るような場の設定を行っている。	○			
		(2)	「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定している。				
		(3)	子育て相談を随時行えるような体制になっている。		○		
		(4)	専門機関との連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している。		○		
	情報の発信	(1)	各種たより・ホームページ等で施設の情報を発信している。	○			・ホームページを改善し、保護者や地域の方が見やすく、園のアピールに繋がるよう情報を配信していく。
	学校評価	(1)	地域や保護者の意見を施設運営に反映している。		○		